

香川県地域医療再生計画 香川県での取り組み

H25.7.17

香川県健康福祉部医務国保課

かごしま、かごしま

香川県



Kagawa Prefectural Government

香川県地域医療再生計画

- (1) 香川県の二次保健医療圏
- (2) 香川県地域医療再生計画(第一次)
- (3) 地域医療再生計画(県東部地域)
- (4) 地域医療再生計画(県西部地域)
- (5) 香川県地域医療再生計画(第二次)

(1) 香川県の二次保健医療圏

二次医療圏とは・・・
一体的な区域として、**一般的な入院医療**を提供できる単位



(2) - 2 香川県地域医療再生計画(第一次の概要)

重点的に取り組む分野

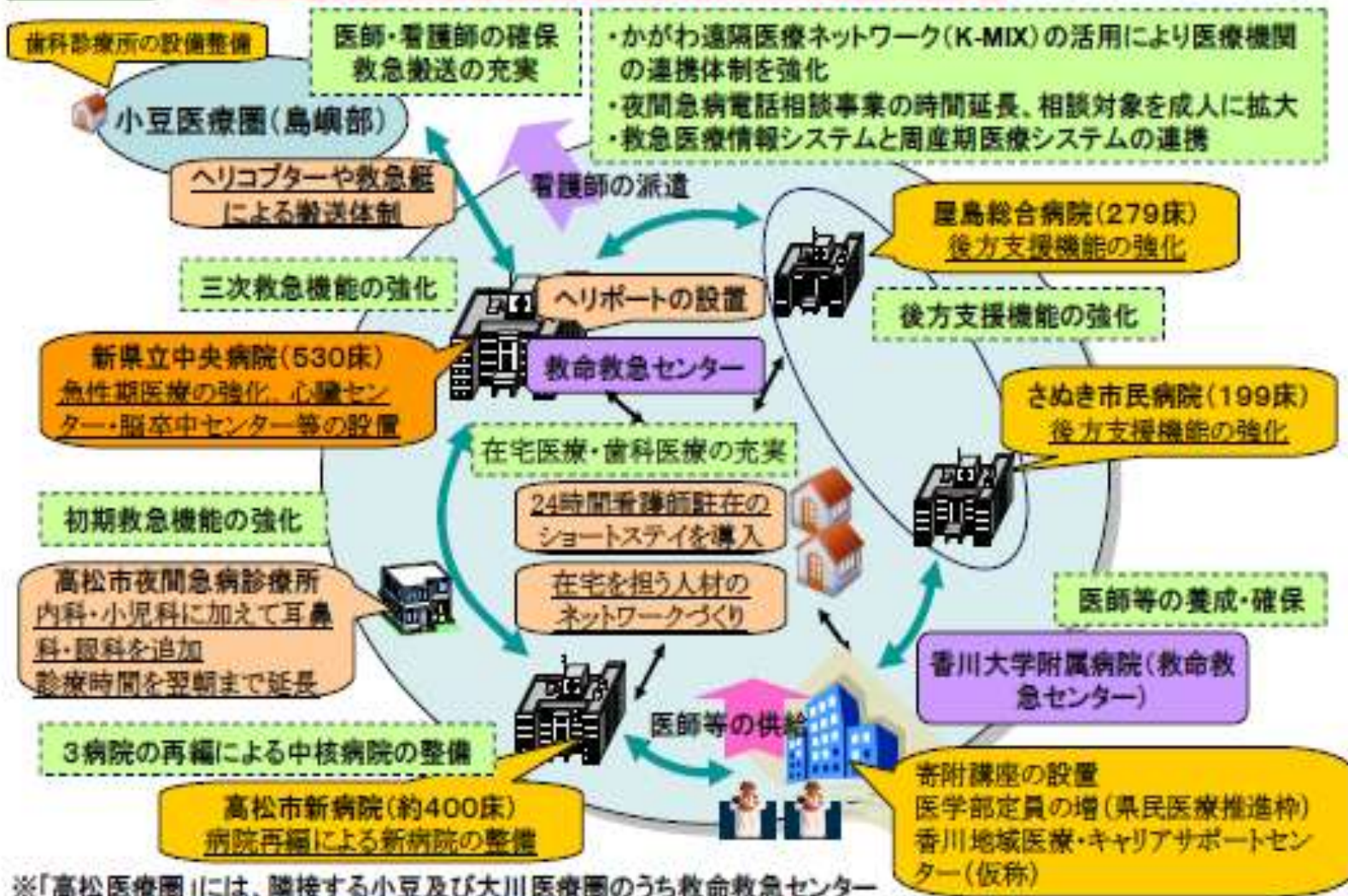
- 地域医療の確保で特に優先して取り組むべき課題(平成20年度県政世論調査)。
 - ・「医師や看護師など**医療従事者の確保・育成**」を6割を超える者が選択
 - ・「夜間や休日などの**救急医療体制の確保**」を4割を超える者が選択
 - ・「在宅で寝たきりになった場合の**在宅医療・在宅歯科医療の充実**」を3割の者が選択
 - 将来推計人口及び受療率に基づき医療圏別に疾患別の患者数を推計。
 - ① 脳梗塞や心疾患など**循環器系の患者数が、2020年には2005年現在よりも約20%増加。救急医療に対する高い需要増**が見込まれる。特に、高松医療圏では2015年までに現在より20%、2025年までに34%増加。
 - ② **患者に占める高齢者の割合は、現在5割強だが、2035年には7割近くに達する。**
 - ③ **がんの患者数は、2015年～20年には現在よりも10%以上増加。**
 - ④ **骨折など筋骨格系の患者数は、2035年には現在よりも約15%増加。**
- ↓
- 県政世論調査と患者推計を踏まえると、以下の対策に優先的に取り組むことが必要。
 - ① 医師や看護師など**医療従事者の確保・育成の推進**
 - ② 脳梗塞や心疾患等の緊急性の高い重症患者に対応できる**救急医療体制の強化**
 - ③ 高齢者の患者の増加に対応した**在宅医療・歯科医療体制の整備・充実**
 - ④ **出産や子育てに関する医療の確保**
 - ⑤ **がんなどの高度医療を安心して受けることができる体制の確保**
 - 特に、県内の中核病院等による検討の場でも「**救急医療体制の強化**」と「**医師確保対策**」を求める意見が大きかったことから、この2つの対策に重点的に取り組む。

(3) 香川県地域医療再生計画(高松医療圏:県東部地域)

対策

救急医療の強化、医療機関の連携強化、医師等の確保に重点

<第一次計画>

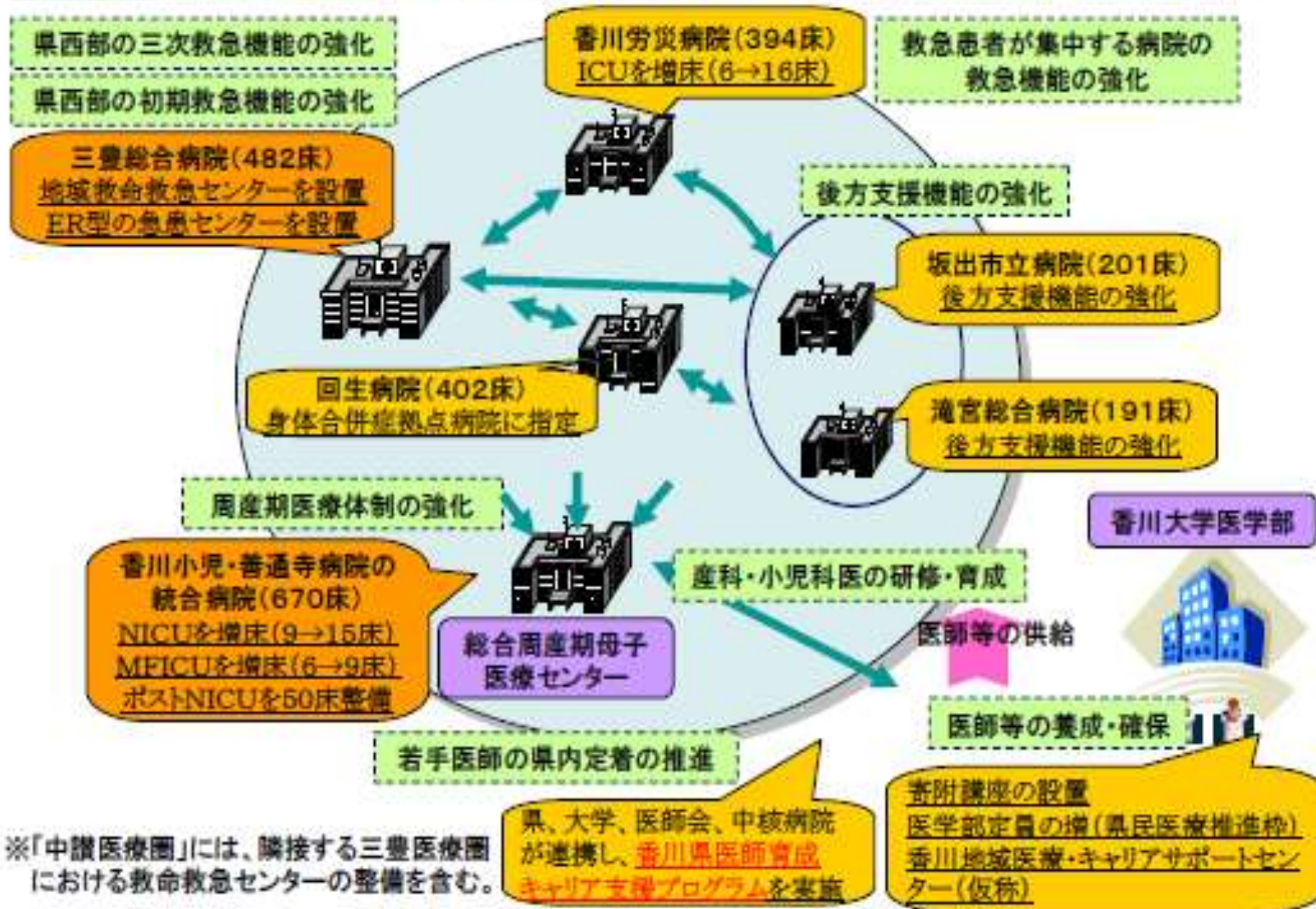


※「高松医療圏」には、隣接する小豆及び大川医療圏のうち救命救急センターを中心に医療機関の連携体制を構築し救急医療体制を整備する地域を含む。

(4) 香川県地域医療再生計画(中讃医療圏:県西部地域)

対策

救急医療の強化、医療機関の連携強化、医師等の確保に重点 <第一次計画>



※「中讃医療圏」には、隣接する三豊医療圏
における救命救急センターの整備を含む。

(5) 香川県地域医療再生計画(第二次)

●計画策定の趣旨

将来推計人口や受療率に基づく将来患者推計を行い、10年から20年後の地域医療の課題を抽出、医療関係者や市町長などからの意見も聴取し、医師・看護師の地域的偏在、救急・産科など診療科による医師不足、医療機関連携やがん対策の強化など、本県全体にわたる医療課題を解決するため、新計画を策定。



平成21年度に策定し、事業を実施中の地域医療再生計画と合せ、本計画の実施により、県内の医療水準の向上と、居住地による医療環境の格差改善等を目指す。

●地域医療再生基金

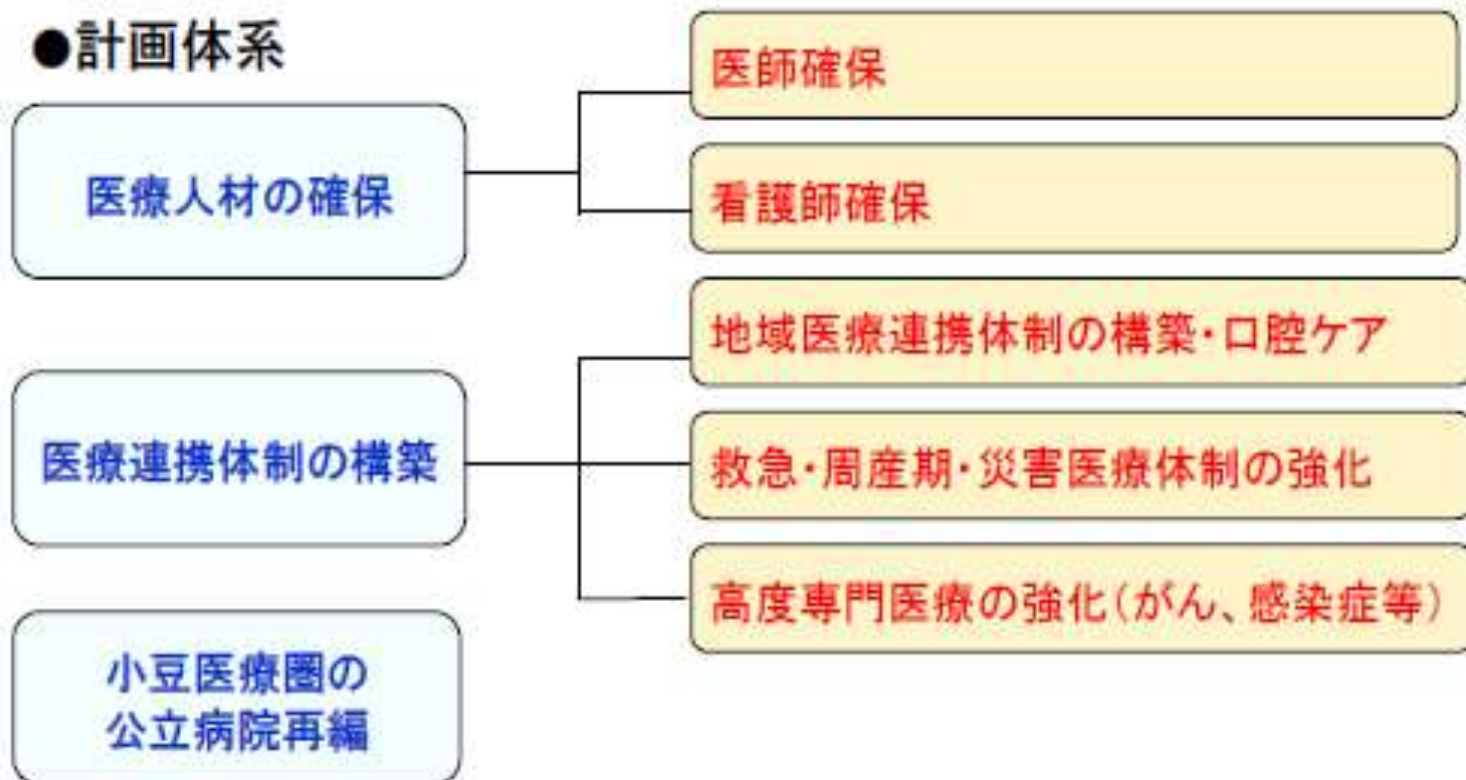
国からの交付金(44億円)を積み立て、地域医療再生計画に基づく事業に活用

(5) - 2香川県地域医療再生計画の期間(第二次)

●計画期間

平成23年度～平成25年度

●計画体系



(5)－3香川県地域医療再生計画(第二次)の重点事業

医師のキャリアステージに応じた医師確保施策の展開

医師を志す中・高校生向けの体験講座の開催や、県出身医学生を対象として、本県医療の実態を肌で感じてもらう「かがわ医療塾」の開催、米国の優れた臨床医・教育医である「大リーガー医」の招聘による研修医等の能力向上策など、医師のキャリアステージ(医学部進学者・医学生・研修医・指導医)に対応した、切れ目のない医師確保施策に取り組む。

K-MIXと連携した地域医療連携ネットワークの構築

県内の中核病院がそれぞれ整備している電子カルテの患者情報を、中核病院間で共有するネットワークを構築した上で、遠隔診断などの機能を有し、中小病院や診療所なども参加している医療機関ネットワークである「K-MIX」と連携させることにより、幅広い医療機関相互の連携や機能分担を促進する。

小豆医療圏の公立病院再編

小豆医療圏において、公立2病院(土庄中央・内海)を統合した新たな病院を整備し、小豆医療圏の継続的な医療体制の確保・強化を図る。

医師確保施策の推進

<第二次計画>

< 医師不足の現状と課題 >

地域間
偏在

診療科の
偏在

勤務医
不足

医師の高齢化
若手医師の流出

女性医師の増加
支援のミスマッチ

< 対策 >

医師不足に対応した、総合的かつ体系的な医師確保施策の展開が必要

臨床研修病院協議会を中心とした初期臨床研修医の確保

地域医療支援センターを中心とした病院総合医の養成

香川大学医学部を中心とした不足診療科専門医の養成

男女とも働きやすい環境整備・女性医師就業・復職支援

キャリアステージに応じた、切れ目のない医師確保施策の展開が必要

医師を目指す高校生等

医学部進学者確保・支援事業
・体験講座出前講座
・医学部進学ガイドブック
・医学部進学セミナー等

医学生

医学生支援事業
・かがわ医療塾
・臨床推論チャレンジカップ
・知事との意見交換会等

初期臨床研修医

初期臨床研修医確保支援事業
・臨床研修協議会設置・運営
・大リーガー医招聘
・研修奨励貸付金
・研修担当専従事務職員配置等

後期研修医

臨床医確保支援事業
・地域医療支援センター設置
・後期研修奨励貸付
・寄附講座
・女性医師就業支援研究等

指導医

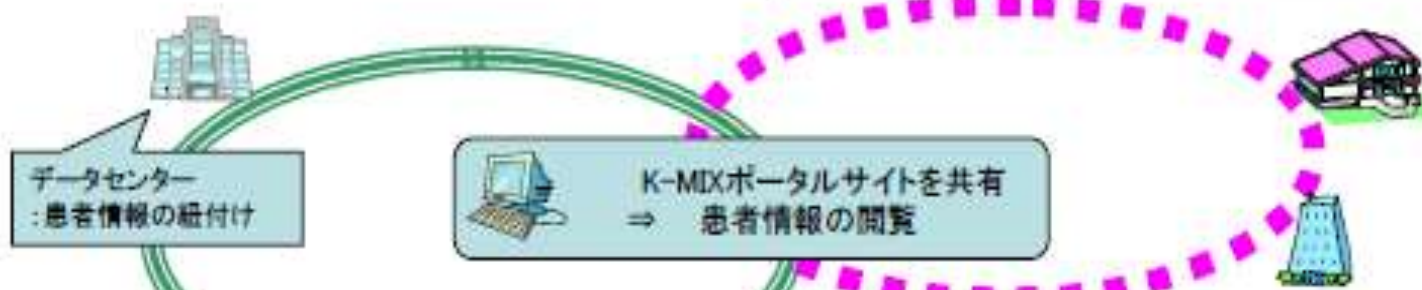
指導医養成事業
・臨床研修指導医支援
・指導医国内外研修派遣
・学会参加支援等

香川県医療情報ネットワーク(仮称)のイメージ

<第二次計画>

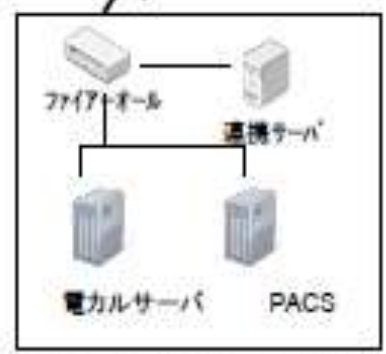
医療情報ネットワーク
救命救急センター・二次輪番病院

K-MIX
主な機能：遠隔画像診断・患者紹介
地域連携クリティカルパス
病院・診療所・介護施設

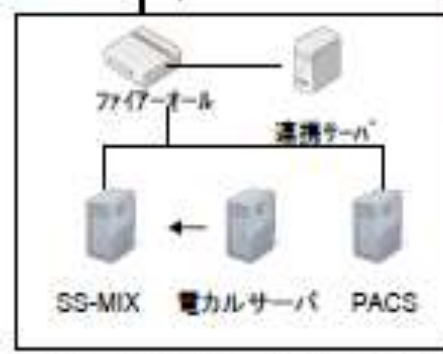


共有化情報(例)
・患者基本情報・病名・処方・検査結果・画像

※ K-MIX接続施設(病院・診療所など)
・カルテ参照・オンライン予約



電子カルテが開発センターと同じ医療機関



電子カルテが開発センターと異なる医療機関

- 機能
紹介連携・救急対応・遠隔画像診断・地域連携クリティカルパスに活用可能!!
- 効果
診療情報提供書作成業務等の効率化
紹介患者情報の一元管理 等

小豆医療圏の公立病院再編

<第二次計画>

- 土庄町・小豆島町ともに人口が大きく減少し、高齢化も進行。
- 患者数は既に減少傾向に入っており、2035年には8割以下の水準に減少。しかし、救急医療の必要性は引き続き高い。
 - 病床数は164床・69.2%過剰。しかし、土庄中央病院・内海病院以外の一般病床は2診療所の24床のみ。
 - 患者動向は、小豆医療圏での受診が7～8割。だが、高度な医療は小豆医療圏外で受診傾向にある。
 - 救急医療は、土庄中央病院と内海病院で輪番制を実施しているが、両病院が毎日対応。
- 医師の減少によって島内での重症患者への対応が困難になり、防災ヘリや高速艇で高松医療圏等に医師が同行して搬送している。
- 医師数、看護師数(人口当たり)は全国平均の水準を下回っている。

土庄町国民健康保険 土庄中央病院

診療科:内・小・外・整・脳・皮・泌・婦・眼・耳
 病床数:126床(一般89、療養32、結核5)
 政策医療:二次輪番病院、へき地医療拠点病院

課 題

- ・看護職員の不足と高齢化(50歳台33%)の進行
- ・患者数の減少と収支の悪化
- ・建物(IS値0.3未満)の耐震化

小豆島町立 内海病院

診療科:内・小・外・整・皮・泌・産・眼・耳・リハ・放
 病床数:198床(一般145、療養42、結核5、感染症4)
 政策医療:二次輪番病院、へき地医療拠点病院、
 災害拠点病院、第二種感染症指定病院

課 題

- ・医師の急減による現場の疲弊と、医師減少の悪循環
- ・専門医の退職による小豆医療圏外への救急搬送の急増
- ・医療収益の減少による収支の悪化

この状態が続くと、数年のうちに2病院とも存続が困難となり、小豆医療圏の患者は、海を超えた高松医療圏に全面依存することになり、小豆医療圏の政策医療拠点(救急・災害・へき地・感染症)が消滅。

質の向上と安定した医療の提供実現による、県全域の医療レベルアップ

- 津波や高潮の心配のない地域へ耐震構造の統合病院を新築し、地域住民の利便性確保のため、現病院を診療所とする。
 - 医師数の増加による宿日直やオンコール待機の負担軽減
 - 各診療科目で医師の複数配置が可能
- 島内で完結可能となる診療機能と質の向上
勤務環境の改善による医師・看護師の退職防止・新規採用の増加

土庄診療所(仮称)

- ・外來機能
- ・無 床
- ・診療科目:内・小

新・統合病院(案)

- ・入院、急性期対応
- ・病床数 :234床程度(現行より20%以上削減)
- ・延床面積:17,600㎡
- ・診療科目:内・小・外・整・皮・泌・産・眼・耳・リハ・放・脳

内海診療所(仮称)

- ・外來機能
- ・無 床
- ・診療科目:内・小